## 「令和3年度に実施した仕事」の振返りシート(A:裁量有)

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事 業 名 称 東大和市社会福祉協議会運営・補助事業費 [ ふれあいのまちづくり事業費補助金交付事務						交付事務 ]						
予算科目		款 3 民生費		項 1	1 社会福祉費			目 1 社会福祉総務費		事業番号 15		
事業の種別 □ 市単独 □ 補助対象 □ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)												
担当部署・課長名 福祉推進 課 庶務 係 課長名 山田								山田 茂人				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 施策番号2 - 6												
【施	【施策名】 地域福祉の推進       総合計画書         (ページ)       65								65			
	● 誰(何)を対象にしていますか。					1 ●の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	ひとり暮らしの高齢者等						市内の高齢者数(65歳以上) 令和4年3月31日現在 年齢別人口統計表23,389人(R3まで					
						→	は3月1E	月31日 日現在人	ザロー <del>・</del> MID 数)	リハロルロ 4220,	,509/(115& C	
1												
$\Box$	② ●をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]						_					
$\mathcal{O}$	地域において見守りや声かけをすることにより、ひ とり暮らしの高齢者等の孤立化を防ぐ。						見守り声かけ活動利用者数 → (社協事業報告書:登録者数292) 令和4年3月31日現在					
仕事												
事の	<b>③</b>	そのため	に何をしる	ましたか。			3 <b>❸</b> をどのくらい行いましたか(活動指標) 市の補助金額					
	東大和市社会福祉協議会が運営するふれあいのまちづ					づ	いりの無的型	的				
的			営に係る費 まちづくりの									
	ا •	見守り、声	かけ活動			7						
			立ち上げ( ごやかサロ		رد							
	_				過去2年	問の生	24書	当該年度		成果目標		
				単位			2年度実績			令和4年度目標	令和5年度目標	
	_	10 16 IF				15 15						
2	対象指標		1 の数値		23,060		23,275	5 23,389				
+1-:	成果指標		]					292				
指標			2 の数値		374		458					
$\mathcal{O}$			2 の目標(	直 %	100		100					
推移	E	目 標	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)									
13			見守り声かけ活動の活動利用者数の割合								_	
	活動指標		3 の数値		6,744,358	7	019,838	6,595,852				
					0,744,306	7,	019,030	0,090,002				
	事業		費(実績) 円		6,744,358	7,019,838		6	6,595,852	※ 人供毒の所要 人类	は、基本的には	
	財源	一般財源		円	3,372,358	372,358 3,		3,297,852		※人件費の所要人数は、基本的には 「人」で表わしますが、一時的な仕事に ついては時間数での表示も可とします。		
			(国•都•代		3,372,000 3,		3,589,000		3,298,000	その場合単位を「時	時間」に変更してくだ	
3			(うち受益者負担)		0		0	O 0,1		▲ 人件費(再仕用職員以外)		
経費	人件	771247 12411	再任用以外)	人	0.1		0.1	0.1				
貝	_	所要人数(再任用) 職員人件費(再任用以外)		人	004.000		838,000	005,000		で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値		
	日 安			円円	831,000	831,000			825,000	(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	事業費十人件費				7,575,358 7,		857,838 7,420,852		1			
	(1) 開始年度 平成8 年度						001,000	- 1	, +20,002			
1	(1) 開始年度   平成8年度 (2) 環境の変化											
4 環	平月	或8~12	年度に住民									
境	平成8~12年度に住民相互のふれあいを推進する東京都のふれあいのまちづくり事業の地区指定を受け、開始された。市内を市の基本構想に基づく8地区に分け、その中で地区別・丁目別などのグループ化を図り、全地区を組織化した。平成13年度に東京都の補助金が廃止されたため、数多くあったふれあいのまちづくり事業のうち、小地域活動											
変   た。平成13年度に東京都の補助金が廃止されたため、数多くあったふれあいのまちづくり事業のうち、小地   (見守り声かけ活動)を継続することとなった。   ・ 敬老金事業縮小(77歳廃止)の影響により大幅に減少している。   ・ こども食堂(芝中地区)H29.9立ち上げ							ノヘツ争来のつと	ノ、 小地球治期				

事 業 名 称	東大和市社会福祉協議会	運営・補助事業費	[ ふれあし	1のまちづく	くり事業費剤	輔助金交付事務 ]
担当部署·課長名	福祉推進	課	庶務	係	課長名	山田 茂人

5 市	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識 について							
民等	本活動を必要としている高齢者の多くが潜在化していると考えられ、協力員と協働で、新たな利用者の掘り起こしに努める必要がある。							
の意								
見								
6市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、 取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)							
	☑ 取り組んだ	取組手法:⑤補助・助成						
	□ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体: )⑦後援・場の提供 ⑧その他( )						
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点							
	特になし							
		とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート 7課題(3)を転記)						
特になし								
7	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。							
課	特になし							
題								
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)							
	特になし							
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)							
	施策名: 地域福祉の推進							
	☑ なっている   □ 環境の変化等により成果が減少している  □ 類似の事業が他にあり改善の余地がある  事業名( ) )							
	(1)仕事の方向性(「	7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)						
	□ 拡大 ☑ 現状維持 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止							
9	【取組内容】							
今後の方向	地域組織化、地区独立活動の推進、個別のニーズへの対応を行う。 利用者増加の課題については、例年敬老金配布時の利用者調査や福祉祭におけるPRを行っているが、平成28年度 より敬老金事業の縮小(77歳廃止)により利用者数は年々減少している。							
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等							
性	市と社会福祉協議会とで、利用者拡大のための連絡調整会等を設け、改善案を出し合う。 地域における相互の支えあい活動として一体的に推進する体制を整備する。							